

三方湖の水草（ヒシ） 繁茂状況のモニタリング

近年、三方五湖の1つ三方湖では、自然環境の変化に伴い、水草（ヒシ）が広範囲に分布するようになりました。このヒシは繁茂し高密度になると漁業や湖岸沿い集落の暮らし、湖の生物多様性の保全において問題になります。そのため、県によりヒシの刈取り事業が開始され、ヒシの繁茂状況の確認、刈取り事業の進捗状況確認に衛星画像が活用されています。

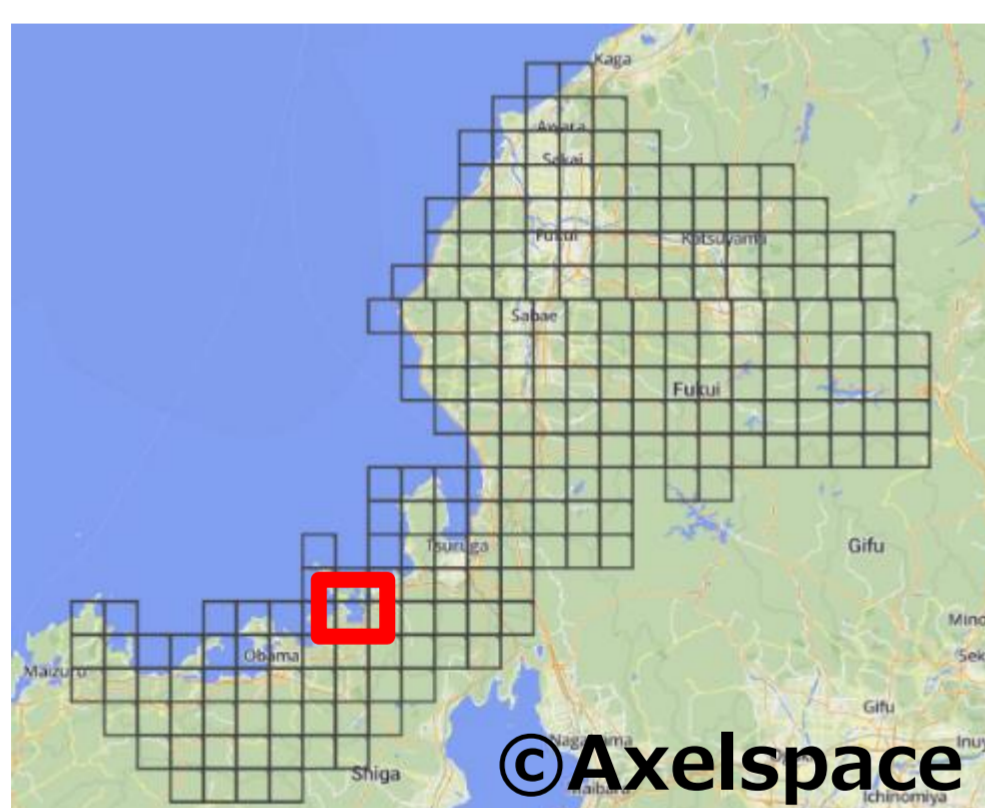


三方湖の水面を覆うヒシ

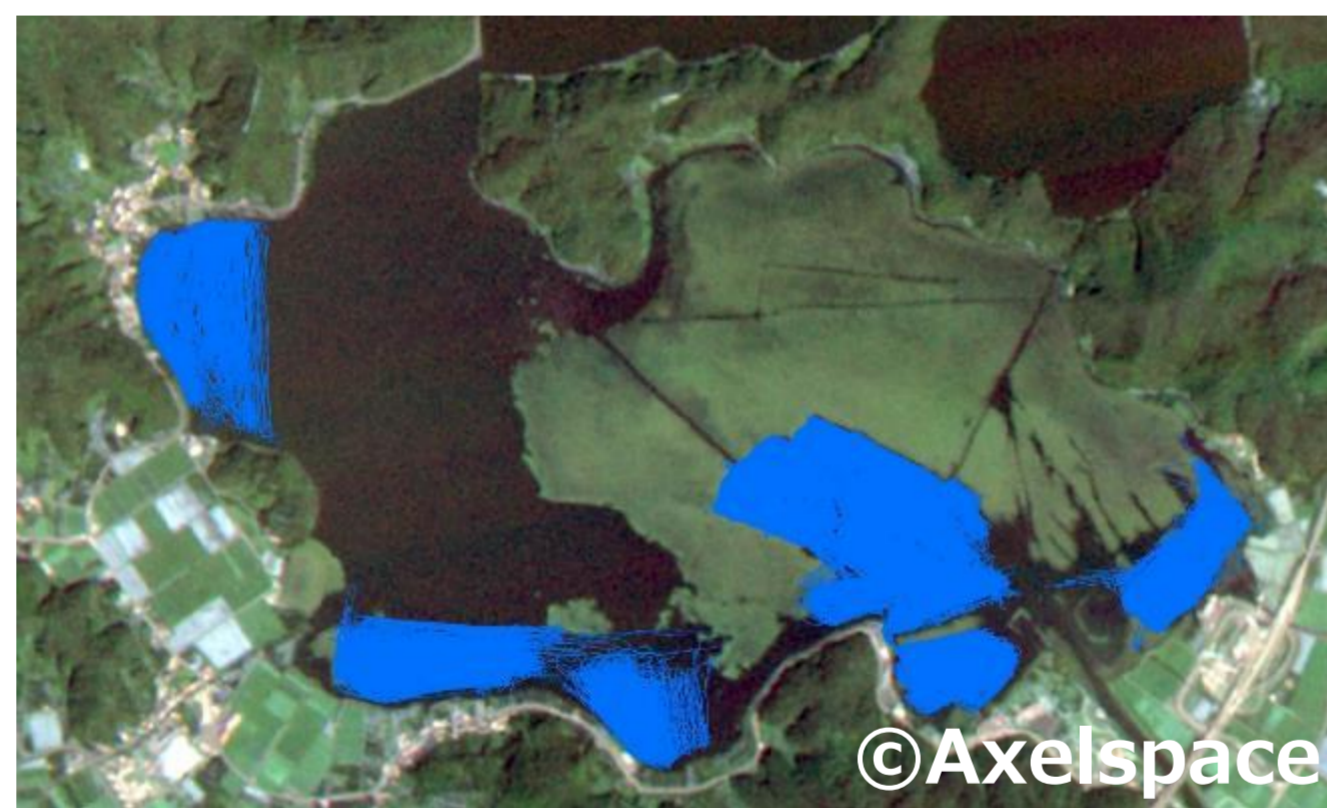


浮葉植物ヒシ

<ヒシの刈取り場所と三方湖の1年間の様子>



撮影エリア



2021年度刈取りエリア



2021.8.28 撮影



2022.3.11 撮影



2022.6.9 撮影



2022.8.29 撮影

ヒシは正と負の両方の影響を持っているため、定期的に繁茂状況を監視し、低密度管理を行うことが望ましいものです。

解説：里山里海湖研究所 三方湖のヒシ問題 ~その対策の考え方と計画、および塩分濃度の影響について~ (その1)

【解説】三方湖のヒシ問題 ~その対策の考え方と計画、および塩分濃度の影響について~ (その1) | 石井 潤 | 研究員コラム | 福井県里山里海湖研究所 (fukui.lg.jp)